

歯っぴらいふ2024年8月号

あたらし歯科医院

歯科衛生士 栩木 誠子

毎日夏の暑い太陽に体を奪われ、食欲さえも落ち込んでしまいがちですが、お身体を大切に毎日をお過ごしくださいね。

こんな時こそスタミナ食を食べたいですが、身体が受付ず、冷たいものや食べやすいもので食事を済ましてしまいがちですので、しっかりと栄養のある物を食べゆつくりと睡眠をとり、静養してください。

健康に気を配っていても、むし歯や歯周病になってしまう事があります。

私達歯科衛生士は病気を未然に防ぐこと、そしてすでに病気になってしまったお口の環境、状態を悪くしないように管理、予防していくことが仕事となります。

今月からは歯周病について広く理解していただきたく、大きなテーマとし歯っぴらいふをお届けします。

歯周病は全身の病気の原因になるというショッキングな内容でお届けしてまいります。

特に糖尿病については、深いかわりがあることから詳しく回数を分けてお届けします。

## 単に歯周病は口の中だけの病気ではありません

歯周病の治療をしないで放置していませんか？

最終的には歯を失う原因になります。

そのことは皆さんもしておられますよね。それだけではなく歯周病のさいきん歯全身に様々な悪影響を及ぼすのです。

口の中では常在菌が口内炎や口角炎を引き起こすことがあります。

また歯周病のうち歯周炎の原因となるグラム陰性菌は体内に入ると様々な病気を引き起こします。

歯肉炎の細菌を含め口腔内常在菌も身体の抵抗力が落ちている時、日和見感染と  
いって肺炎や腸炎を起こす原因ともなります。

歯周病は口の中だけの病気ではないのです。



### 内科医も注目している歯周病

歯周病の細菌が原因である種の慢性関節リウマチ、慢性腎炎、リウマチ性心筋炎など  
起こることが知られています。

メカニズムはわかりませんが、細菌が出す毒素やそれらによって壊れた組織  
がある減となり血液を介し全身へと運ばれ離れた臓器や皮膚や関節などで抗  
原抗体反応を起こし発症すると考えられています。

心内膜炎は細菌が血管に入り込み心臓の内膜で炎症を起こすことにより発症しま  
す。

### 心臓病や脳卒中とも関係のある歯周病



歯肉は血管に富む組織です。

そのため歯肉組織に入り込んだ歯周病菌は血液に混ざり全身に回ります。

この血液がまざった歯周病菌は心臓の血管内皮細胞に侵入することが分かっ  
ています。

そして血栓が作られたり、血管を狭くしたりして直接心臓の冠状動脈に悪さをしま  
す。

したがって冠状動脈の動脈硬化を進行させることとなります。

歯周病の細菌はグラム陰性菌で細菌の中でも強い毒素を持っています。

それらの毒素は歯周組織に作用するだけでなく、全身的にも血管を繰り返し刺激し血管炎や動脈硬化を誘発します。

フィンランドなどでは心臓疾患を発症した人としなかった人の2つのグループに分かれそれぞれのグループで歯周病の有無を調べた結果歯周病のある人の方が心臓疾患が起こりやすいことがわかりました。

動物実験でもプラーク中の細菌を注射すると、血栓ができやすいことが分かっています。

今月の歯っぴらいふは以上です。

次回からも引き続き歯周病をテーマにお届け致します。

糖尿病と歯周病、寝たきりの人の微熱の原因には、大半が歯周病菌が関係していることがわかりましたので、そのことにも触れてみたいと思います。

歯科衛生士 栩木 誠子

